

イ 橋とその由来 [C -]

- ・ C - 1 土屋橋・土屋橋歩道橋
- ・ C - 2 欠の上人道橋
- ・ C - 3 佐の橋
- ・ C - 4 滝沢橋
- ・ C - 5 寺分大橋
- ・ C - 6 観音橋
- ・ C - 7 土屋窪橋
- ・ C - 8 碁打橋
- ・ C - 9 門前橋
- ・ C - 10 座禅川橋
- ・ C - 11 堀切橋
- ・ C - 12 脇 橋
- ・ C - 13 坂元橋
- ・ C - 14 芳盛寺橋
- ・ C - 15 滝沢境橋
- ・ C - 16 鷺坂橋
- ・ C - 17 三笠橋
- ・ C - 18 向坂橋
- ・ C - 19 弁天橋
- ・ C - 20 土屋小前横断歩道橋
- ・ C - * * 南平橋
- ・ C - * * (無名橋) 座禅川 (3ヶ所) ・三笠川 (3ヶ所)

[由 来]

- ・土屋橋・土屋橋歩道橋 (C-1) [ツチヤバシ・ツチヤバシホドウキョウ]
 - ・土屋の幹道である県道77号線の金目川に架橋されています。土屋の北東の土屋橋口は、土屋にとって最も重要な玄関口です。むかしは、木製の橋でしたが、現在は立派なコンクリート橋です。昭和37年(1962)改修されました。
 - 幅員7m(車道のみ)・橋長61m。コンクリート製。
 - また、交通量の増加に伴い、昭和50年(1975)3月に、土屋橋に沿って架けられた歩道橋です。幅員3m。橋長62m。鉄橋。
- ・欠ノ上人道橋 (C-2) [カケノウエジンドウキョウ]
 - ・昭和47年(1972)に金目川に架橋され、小熊下と秦野市欠ノ上とを結ぶ人道橋です。昔はこの付近に、丸太の木橋がかかり、小田原街道(大山街道)につながる重要な橋でした。幅員2m。橋長56m。鉄製
- ・佐の橋 (C-3) [サノバシ]
 - ・座禅川の最下流に架橋され、県企業庁の配水池工事に伴う工事用の橋として設置されました。この橋は、金目地区にあります。
 - 幅員4m。橋長26m。鉄骨製。
- ・滝沢橋 (C-4) [タキザワバシ]
 - ・字入宇田にあり、土屋1号線の座禅川に架橋されています。
 - 幅員4m。橋長17m。コンクリート単純橋

- ・寺分大橋 (C-5) [テラブンオオハシ]
 - ・昭和48年(1973)に、土屋4号線の座禅川に改修、架橋されました。架橋当時は、寺分で一番大きな橋でした。
 - 幅員5.5m・橋長14m・コンクリート単純橋
- ・観音橋 (C-6) [カンノンバシ]
 - ・昭和48年(1973)に、土屋10号線の座禅川に改修、架橋されました。
 - この橋は、正藏院(寺分の観音さん)に通ずる橋です。
 - 幅員6m・橋長15.44m・コンクリート単純橋
- ・土屋窪橋 (C-7) [ツチャクボバシ]
 - ・昭和49年(1974)に、土屋12号線の座禅川に改修、架橋されました。
 - この橋は土屋窪に通ずる橋です。
 - 幅員5m。橋長16.33m。コンクリート単純橋
- ・碁打橋 (C-8) [ゴウチバシ]
 - ・昭和50年(1975)に、土屋15号線の座禅川に改修、架橋されました。
 - この橋は、碁打谷に通ずる橋です。
 - 幅員3m・橋長14m・コンクリート単純橋
- ・門前橋 (C-9) [モンゼンバシ]
 - ・土屋16号線の座禅川に架橋されています。土屋の館・宗憲寺跡前を門前と呼びます。むかしは、四本橋(しほんばし)と呼ばれていましたが、現在の橋名は、昭和50年(1975)改修された時に命名されました。
 - 幅員3m・橋長14m・コンクリート単純橋
- ・座禅川橋 (C-10) [ザゼンガワバシ]
 - ・むかしは丸太の橋でしたが、昭和33年(1958)に、幹道15号線の座禅川に架橋されました。幅員5.5m・橋長7.1m・コンクリート単純橋
 - 昭和54年(1979)改修されました。
 - 幅員6m(車道)1.5m(歩道)・橋長16.36m鉄筋コンクリート橋
- ・堀切橋 (C-11) [ホリキリバシ・ホリギリバシ]
 - ・土屋34号線の座禅川に架橋されています。この橋は堀切に通ずる橋です。
 - 幅員7m・橋長14m・コンクリート単純橋
- ・脇橋 (C-12)
 - ・県道77号線の座禅川に架橋されています。上庶子分と惣領分の接点に在ります。
 - 幅員5m・鉄筋コンクリート橋

- ・坂元橋 (C-13) [サカモトバシ]
 - ・芳盛寺の東方に有り、昭和50年(1982)に座禅川に改修、架橋されました。坂元に通ずる橋で、むかしは、一本橋(いっぽんばし)と呼ばれていました。
 - 幅員5m・橋長11m・コンクリート単純橋
- ・芳盛寺橋 (C-14) [ハウセイジバシ]
 - ・芳盛寺の前に有り、昭和61年(1986)に座禅川に改修、架橋されました。
 - 幅員5m・橋長12m・コンクリート単純橋
- ・滝沢境橋 (C-15) [タキザワサカイバシ]
 - ・昭和54年(1979)に、三笠川の最下流に改修、架橋されました。(金目地域) 幅員4m・橋長6m・コンクリート単純橋
- ・鷺坂橋 (C-16) [サギサカバシ]
 - ・鷺坂にあり、土屋2号線の三笠川に架橋されています。
 - 幅員6m・橋長6m・コンクリート単純橋
- ・三笠橋 (C-17) [ミカサバシ]
 - ・下三笠にあり、昭和54年(1979)に土屋1号線の三笠川に改修、架橋されました。飛谷津口(とびやつくち)に通ずる橋です。
 - 幅員7m・橋長7m・コンクリート単純橋
- ・向坂橋 (C-18) [ムコウザカバシ]
 - ・向坂にあり、昭和60年(1985)に土屋10号線の三笠川に改修、架橋されました。
 - 幅員6m・橋長13m・コンクリート単純橋
- ・弁天橋 (C-19) [ベンテンバシ]
 - ・銭洗い弁天(妙円寺)前にあり、昭和53年(1978)に幹道15号線の三笠川に改修、架橋されました。
 - 幅員8m・橋長5m・コンクリート単純橋
- ・土屋小学校前横断歩道橋(C-20) [ツチャショウガッコウマエオウダン
ホドウキョウ]
 - ・昭和44年(1969)に、県道77号線の旧土屋小学校前に架橋されました。
 - 幅員1.5m

・南平橋 (C-**) [ナンペイバシ]

・小熊と秦野市下大槻とを結び、金目川に架橋されています。(秦野市地域)
幅員 7 m・橋長 39 m・コンクリート橋

(無名橋)

・座禅川 (3ヶ所)

幅員 2.2 m	橋長 16.1 m (2か所)
幅員 2.3 m	橋長 5.4 m (1か所)

・三笠川 (3ヶ所)

幅員 4.3 m	橋長 5.3 m (1か所)
幅員 4.8 m	橋長 5.8 m (1か所)
幅員 8.5 m	橋長 6.6 m (1か所)

